

水稻新品種 (キヌヒカリ熟期) の最終候補 3 系統の特性

当センターでは 2016 年から県内の JA グループと共同で高温年でも玄米の外観品質が低下しにくい高温登熟耐性を持つ品種の開発に取り組んできた。栽培試験を行い、キヌヒカリ熟期の最終候補 3 系統の収量、整粒率などが把握できた。

内容

キヌヒカリと同時期に登熟する新品種最終候補 3 系統 (兵系 89、91、92 号) の各種肥料施用における特性を調査するため、2023 年にセンター場内圃場 (加西市) で栽培試験を行った。

4 肥料区を設け (表)、上記 3 系統を栽培し、生育特性、収量性等を調査した。播種は 5 月 9 日、田植えは 5 月 31 日に行った。

3 系統の出穂期および成熟期は「キヌヒカリ」よりもやや早い、その差は最大で 4 日程度であり「キヌヒカリ」とほぼ同熟であった。

稈長は「キヌヒカリ」に比べ兵系 89 号が同程度、兵系 91、92 号はやや短く、いずれも耐倒伏性に優れていた。

4 肥料区のうち最も収量が高かったのは 3 系統とも分施 2 区であり、特に兵系 91 号は 600.2kg/10a とかなり多収であった。肥効調節型 1 区はそれに次いで多収となったが、玄米タ

ンパク質含量も高くなり食味の低下が懸念された。4 肥料区平均収量は、「キヌヒカリ」に対し兵系 89 号はやや低収、兵系 91 号は多収、兵系 92 号は同程度となった。

3 系統の整粒率^{せいろめう}*はいずれの区も「キヌヒカリ」に比べてかなり高く、1 等米の基準となる整粒率 70% 以上を満たしていた。2023 年の登熟期間は極めて高温であり、3 系統は高温登熟耐性に優れていることが確認された。

今後の方針

2024 年度も特性把握の試験等を行い、2025 年 3 月までに最終候補を選定し品種登録出願すると共に、それに適した施肥体系を確立し現地普及を進めていく予定である。

※整粒率：充実した透明な米粒の割合

篠木 佑 (農産園芸部)

(問い合わせ先 電話：0790-47-2412)

表 4 肥料区の概要および栽培・玄米品質特性

肥料水準	施用方法	品種・系統名	出穂期 (月・日)	成熟期 (月・日)	稈長 (cm)	収量 (kg/10a)	玄米タンパク質含有率 (%)	整粒率 (%)
分施 1 区 (くみあい複合燐加安42号) N: 8kg/10a	基肥: 5 穂肥①: 3	キヌヒカリ	8.05	9.07	80.0	447.4 -	6.7	58.8 -
		兵系89号	8.01	9.04	79.1	440.6 n.s.	6.6	77.6 **
		兵系91号	8.01	9.06	73.0	525.4 **	6.3	78.0 **
		兵系92号	8.01	9.05	70.0	491.6 *	6.4	81.2 ***
分施 2 区 (くみあい複合燐加安42号) N: 8kg/10a	基肥: 3 分けつ肥: 2 穂肥①: 2 穂肥②: 1	キヌヒカリ	8.04	9.07	80.4	525.6 -	6.6	56.9 -
		兵系89号	8.02	9.05	81.3	500.7 n.s.	6.7	77.0 ***
		兵系91号	8.02	9.07	72.8	600.2 **	6.4	77.9 ***
		兵系92号	8.02	9.05	71.7	520.5 n.s.	6.3	83.1 ***
肥効調節型1区 (JC700) N: 8kg/10a	全量基肥全層施肥	キヌヒカリ	8.04	9.08	78.7	555.7 -	6.9	59.9 -
		兵系89号	8.02	9.05	76.7	475.5 ***	7.2	84.5 ***
		兵系91号	8.02	9.07	69.9	561.9 n.s.	6.6	76.0 ***
		兵系92号	8.02	9.05	66.5	514.2 **	6.7	75.6 ***
肥効調節型2区 (有機入りJコート256) N: 6kg/10a	全量基肥全層施肥	キヌヒカリ	8.04	9.08	72.1	484.3 -	6.6	59.0 -
		兵系89号	8.01	9.04	75.7	436.8 *	6.7	84.5 ***
		兵系91号	8.02	9.07	69.0	521.1 n.s.	6.1	76.0 ***
		兵系92号	8.01	9.05	66.5	442.4 *	6.3	83.1 ***
4 肥料区 の平均	-	キヌヒカリ	8.04	9.08	77.8	503.3 -	6.7	58.7 a
		兵系89号	8.02	9.05	78.2	463.4 *	6.8	80.9 b
		兵系91号	8.02	9.07	71.2	552.2 **	6.4	77.0 b
		兵系92号	8.02	9.05	68.7	492.2 n.s.	6.4	80.7 b

収量、タンパク質は水分率 14.5%換算値を記載。

整粒率はサタケ穀粒判別機 (RGQ120B)、タンパク質はサタケ (RLTA10A) により測定。

***, **, * は、それぞれダネット検定 (対照は各区のキヌヒカリ) の結果、0.1%, 1%, 5%水準で有意、n. s. は有意でないことを示す。a, b: 異符号間に tukey 法による有意差 (5%水準) があることを示す。